

嚥下訓練ですべきこと

曖昧にしてはいけないこと

— 摂食嚥下リハビリテーション手技の基本を振り返る —

講師 柴本 勇先生 (聖隷クリストファー大学)

嚥下訓練は目的志向型訓練です。ねらいを定め、確実に効果が得られるよう実施することが必要です。どの訓練にも目的があり、目標があります。その目標を達成させるために、各種方法やプロトコルが具体的に定められています。今回のセミナーでは、摂食嚥下リハビリテーションの訓練手技を振り返り、各手技のねらいとともに、明確にすべきことや曖昧にしてはいけないことを解説します。日々の臨床では、教科書通りにいかないことが常で臨機応変に対応することが求められます。だからこそ各訓練手技の基本を押さえた上で、提供する方の状態や臨床環境に合致させ実施できると理想のアウトカムに近づくと考えられます。最新手技も大切ですが、基本を知っていることが重要です。講師の臨床経験に基づいて重要な点を振り返ります。

2023

7/30(日)

13:00~15:30



■ 対象

言語聴覚士 ほか

■ 定員

250名

■ 申込方法

当研究会ホームページまたは
左記のQRコードから
お申し込みください。

■ 参加費

当研究会会員 無料

非会員 3,000円

※会員として参加される場合、

7/23(月)までに入会手続きを
お済ませください。

■ 申込締切

2023年7月26日(水)

定員になり次第締切ります

